

【男性不妊について】

男性不妊とは、不妊の原因が男性側に存在するものを指し、一般的に不妊原因の約50%は男性側にあるといわれています。SQA-iOでは基本的な精子濃度や運動率、また人の目では測れない高速前進運動精子濃度やSMI (Sperm Motility Index) など含め計15項目測定することが可能です。

【精液検査とは】

通常の精液検査では、精液量、精子濃度、運動率、正常形態率などを調べ、WHOの正常精液の下限基準値と比較しています。1 mlの精液の中に存在する精子の数を精子濃度といい、その中で前進運動をしている精子の濃度を前進運動精子濃度と呼び、SMI測定に最も深く関与しています。

最新型モデルSQA-iO使用



院内で75秒で簡単結果判定



【SMI(Sperm Motility Index) とは】

SMIとは、MES社が30年以上前に設けた基準で、運動精子濃度と精子平均速度を組み合わせることで数値化したものであり、精子の状態が良好であるほど高い値が示されます。一般的にはSMI 80 (以上で良好) を基準値として定め、受精方法を決める重要な指標の一つとして海外および国内でも広く認知されています。

	SMI	前進運動精子濃度 ($\times 10^6/ml$)	精子濃度 ($10^6/ml$)	前進運動率
下限基準値	80	4.8	15	32(%)

【SQA-iOでの精子の判定基準】

パラメータ	結果	単位	基準値	運動性グラフ
濃度	85.8	百万/ml	≥ 16	<p> ■ 高速前進運動率 (%) ■ 低速前進運動率 (%) ■ 非前進運動率 (%) ■ 不動率 (%) </p>
運動率	57	%	≥ 42	
前進	46	%		
高速前進運動率	26	%		
低速前進運動率	20	%		
非前進運動率	11	%	≤ 1 ↑	
不動率	43	%	≤ 20 ↑	
正常形態率	9	%	≥ 4	
運動精子濃度*	48.7	百万/ml		
前進運動精子濃度*	39.3	百万/ml		
高速前進運動精子濃度*	22.2	百万/ml		
低速前進運動精子濃度*	17.1	百万/ml		
機能性精子濃度*	8.2	百万/ml		
速度 (VCL)*	40	$\mu m/秒$		
SMI(精子運動性指数)*	187	---		

* MESパラメータはアスタリスク(*)で示されています

※ WHOの調査では、検査結果は体調不良やストレス等により大きく変わることがわかっています。

1回目の検査で虚弱に分類されてしまった場合でも、喫煙/飲酒/睡眠不足/ストレスなどを解消して再検査を受けることで、正常値を得られることがあります。体調管理を心がけて再検査を受けることをお勧めします。